



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 中村橋教室

TEL. 5971-3615

あけましておめでとうございます。2025年はみなさんにとって、どんな年にしたいですか？勉強やクラブ活動、趣味など、自分の目標や願望が達成できるように、今年もがんばりましょう。今年もよろしく願いいたします。（写真 スムース/PIXTA）

だれでも
分かる

教育情報
&
ニュース



(写真 sasaki106 / PIXTA)

みなさんは数学・理科は得意？国際学力調査

算数や数学、理科の基礎的な知識を問う国際学力調査「TIMSS」の2023年の調査結果が公表され、日本は小学生の理科が6位と前回より順位を下げましたが、全体的に高い水準を維持したことがわかりました。この調査は、国際教育到達度評価学会（IEA）が子供の数学・理科の基礎的な学力を調べるため、4年に1度行っています。

この調査には、世界で小学校は58か国・地域から約36万人、中学校は44か国・地域から約30万人が参加しました。平均得点は、小・中学生いずれも、算数・数学、理科ともに、高い水準を維持していますが、算数・数学、理科への興味・関心については「数学、理科を勉強すると、日常生活に役立つ」「数学、理科の勉強は楽しい」と考える中学生の割合が増加傾向にある一方、「算数・数学、理科は得意だ」と思う小・中学生の割合が減少していることがわかりました。

●平均得点の比較

小4算数	平均得点	中2数学	平均得点
1 シンガポール	615	1 シンガポール	605
2 台湾	607	2 台湾	602
3 韓国	594	3 韓国	596
4 香港	594	4 日本	595
5 日本	591	5 香港	575
小4理科	平均得点	中2理科	平均得点
1 シンガポール	607	1 シンガポール	606
2 韓国	583	2 台湾	572
3 台湾	573	3 日本	557
4 トルコ(5年)	570	4 韓国	545
5 イングランド	556	5 イングランド	531
6 日本	555	6 フィンランド	531

2024年の訪日外国人旅行者数 過去最高に

日本政府観光局によると、昨年2024年1～11月に日本を訪れた外国人旅行者は、累計で約3338万人となり、過去最多だったコロナ禍前の2019年1年間の累計3188万人をすでに上回ることがわかりました。2019年の11月までと比べた累計では、韓国からの訪日客が最も多く49.0%増の約795万人で、ついで中国の637万人（28.2%減）、台湾の555万人（22.3%増）、アメリカの248万人（57.4%増）となっています。

政府は、2030年に日本を訪れる外国人旅行者を今の約2倍となる6000万人に増やす目標を掲げていますが、一方で旅行者が観光地に集中し地域住民の生活に影響が出るオーバーツーリズムや、宿泊施設・人手の不足などの問題が深刻になっています。

未成年のSNS禁止へ オーストラリア

オーストラリア議会は、16歳未満の子供が「X」や「インスタグラム」、「TikTok」などのSNSを利用することを禁止する世界初の法案を可決し、世界中から注目されています。

この法律は、SNSの運営会社に16歳未満の子供が利用できないような措置を講じることを義務づけるもので、違反した場合、最大で4950万オーストラリアドル（日本円で約49億円）の罰金が科されます。またYouTubeやオンラインゲームは除外されていて、保護者や子供自身への罰則はありません。

オーストラリアでは近年、子供がSNSによって日常生活や健康に悪影響が出ることへの懸念や、悪質ないじめや性被害にあったりする事態が相次ぎ、規制を求める声が上がっていました。このような懸念は日本も同様にあります。SNSのメリット、デメリットをしっかりと考えて使いたいですね。



めざせ
合格！

こう こうにゆう し

す

かた

高校入試までの過ごし方ガイド

中3のみなさんは、1月に入って、いよいよ高校入試シーズンに突入ですね。受験勉強を順調に進めている人もいれば、不安に感じている人もいられるかもしれません。ここで受験当日までの勉強の進め方や過ごし方を確認して、万全な状態で試験に臨みましょう。中1・中2の人たちも、ぜひ今後の参考にしてください。

(イラスト Gugu / PIXTA)

① 入試対策編：基礎レベルは確実に！「くり返し+解き直し」で実力アップ！

公立高校の入試問題の多くは、教科書レベルの基本的な問題をもとに出題されます。ですから、入試に向けて**基本的な知識を幅広く身に付けておくことが重要です**。基本問題の取りこぼしは点差に直結するので要注意。「みんなが解けそうにない難問」に取り組むよりも「**みんなが解けそうな問題**」を**確実に解けるよう**しておきましょう。

この時期、不安な気持ちから新しい参考書や問題集に手を出す人も見られますが、**これまで使ってきた教材や問題集を見直して、間違えた問題の解き直しをするほうが実力アップにつながります**。何度も間違えるような問題は、ノートに解くポイントをまとめて、受験直前に見直せるようにしておくと、自分だけの参考書になってよいですよ。今まで勉強してきた問題集・ドリルを完璧に解けるようにすることが、実力も自信も高めてくれます。

基礎固めの勉強のあとは、**志望校の過去問に取り組みましょう**。過去問は少なくとも過去3年分を解いて出題傾向をつかみましょう。どの部分をより復習するべきか対策が取りやすくなります。過去問を解くときに、一度は入試本番と同じ時刻・時間・教科順でやってみましょう。この時心がけたいのは、**実際の試験時間の長さを体感すること**、そして**解ける問題を落とさず、解けそうにない問題に時間をかけすぎないように解答の時間配分を体で覚えていく**ことです。入試当日の問題が解ければいいので、過去問での点数に一喜一憂する必要はありません。解き終わったら採点後にしっかり「**不正解の解き直し**」をして、**解ける問題を少しでも増やしておくことが**、合格につながります。本番直前まであきらめずにがんばって、本番当日を「ベストな自分」の状態で迎えましょう。

② 生活編：体調管理と十分な睡眠を意識しよう！

入試本番で実力を発揮できるよう、まずは**体調を崩さないように気をつけましょう**。風邪予防にこまめにうがい・手洗いをする、睡眠を十分とるなど、できることは徹底しましょう。とはいえ、試験当日に体調不良になってしまいかもかもしれません。万が一の場合に備えて、追試対象などホームページなどで今から調べておくとういことです。

また入試は朝から試験が行われます。試験開始時刻に脳がしっかり働くように、今から**早寝早起きの規則正しい生活リズムを作りましょう**。**適度な睡眠は知識や記憶の定着の面でも大切**。睡眠時間はきちんと確保しましょう。

③ 入試直前編：できる準備はしっかりと。余裕をもって行動しよう！

試験会場までのルートを必ず確認しましょう。ネット検索でルートや所要時間の確認は簡単にできますが、適切な乗り換え場所や試験会場までの道のりなどは意外とわからないものです。できれば事前に会場まで行っておくと安心です。また、入試当日は交通機関が遅れることもあるので、**時間に余裕をもって出発しましょう**。食後2～3時間後に頭が働き始めるので、試験が9時開始なら朝食は6、7時に取るのがおすすめ。

また、当日忘れ物をしないために、**事前に持ち物のチェックリストを作って準備しましょう**。学校によっては**昼食（弁当）やコンパス、定規**などの文房具が必要などがあるので、入試要項を必ずチェックしましょう。



がんばった
自分を信じ
て臨もう！